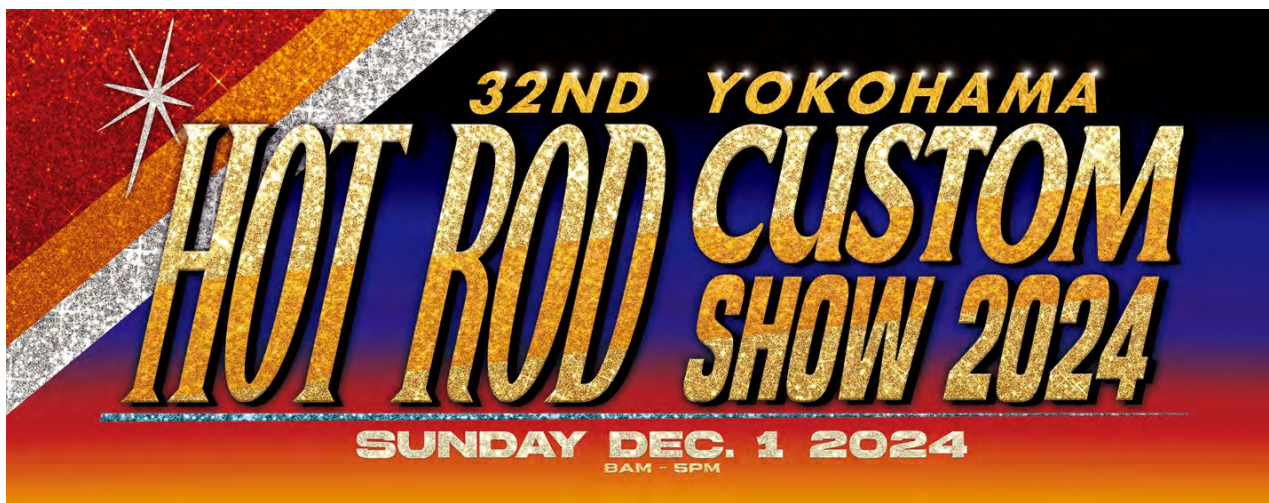


報道関係者各位

ロイヤルエンフィールドジャパン
(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)
2024年11月7日
PCI-RE2024018

ROYAL ENFIELD ヨコハマ ホット ロッド カスタムショー 出展のご案内



- ロイヤル エンフィールドは「32nd YOKOHAMA HOT ROD CUSTOM SHOW 2024」に出展
- 日本を代表するカスタムバイクビルダー「SURESHOT 相川拓也氏」が製作した「SHOTGUN 650」ベースのカスタムバイクを世界初公開
- 海外ビルダー製作の SHOTGUN 650、SUPER METEOR 650 ベースの 2 台のカスタムバイク、CHERRY'S COMPANY 製作のカスタムサイドカー「CHALLENGER」も展示

中型モーターサイクルセグメントのグローバルリーダーであるロイヤルエンフィールドは、12月1日(日)にパシフィック横浜で開催される日本最大級のカスタムカーおよびカスタムバイクのイベント「32nd YOKOHAMA HOT ROD CUSTOM SHOW 2024(以下 HCS)」に出展いたします。

ロイヤルエンフィールドは 2019 年・2021 年の HCS で二輪部門の最優秀賞を獲得した、日本を代表するカスタムバイクビルダーである「SURESHOT(シュアショット)相川拓也(あいかわたくや)氏」が製作した SHOTGUN 650(ショットガン・ロクゴーマル)ベースのカスタムバイクを世界初公開いたします。

また、ロイヤルエンフィールドの公式カスタムプログラム「Custom World(カスタム・ワールド)」では世界各地で活躍するカスタムバイクビルダーとコラボレーション、数多くのカスタムバイクを発表しています。今回の HCS ではその中から SHOTGUN 650、SUPER METEOR 650(スーパーメ

ROYAL ENFIELD

テオ ロクゴーマル)をベースにした2台のカスタムバイクと、昨年のHCSで世界初公開した「CHERRY'S COMPANY(チェリーズカンパニー)」が製作したカスタムサイドカー「CHALLENGER(チャレンジャー)」の展示も行います。

< イベント開催概要 >

■名 称: 32nd YOKOHAMA HOT ROD CUSTOM SHOW 2024
(第32回ヨコハマ ホット ロッド カスタム ショー 2024)

<https://yokohamahotrodcustomshow.com>

■日 程: 2024年12月1日(日)

■会 場: パシフィコ横浜
神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

<https://www.pacifico.co.jp>

■入場券: 前売り4,400円/当日5,500円(小学生以下無料)

<https://yokohamahotrodcustomshow.com/ticket-2024/>

< ROYAL ENFIELD 展示概要 >

【 SURESHOT from Japan 】

シュアショットは2003年にスタート。新旧のアメリカンモーターサイクルを中心に、日本ブランドのバイクのチューニングやカスタムバイクの製作、さらにはレーシングバイクの製作やレースサポートも行っています。またインジェクションチューニングにも注力。そこで得たノウハウを活かし、SURESHOT 製カスタムバイクのパフォーマンスの向上を追求しています。



ROYAL ENFIELD

【 AMS GARAGE from Indonesia 】

ベースマシンは SUPER METEOR 650。「PHOENIX(フェニックス)」と名付けられたこのカスタムバイクを製作したのは、インドネシアの AMS ガレージです。PHOENIX はギリシャ神話に登場する再生のシンボル。ハンドメイドによって仕上げられたアルミ製の燃料タンクとリアカウルが美しくつながり、そのラインがフェニックスに似ていることから命名されました。エアサスペンションをセットしたガーダーフォークやハードテールのフレームはオリジナル。その細部に至るまでハンドメイドによる装飾が施されています。



【 ICON MOTORSPORTS from USA 】

アイコン モータースポーツはアメリカ生まれのヘルメットおよびモーターサイクルギアのブランドです。ストリートをテーマにカッティングエッジなデザインのアイテムを数多く発表。同時に高い安全性も確保し人気を博しています。そのアイテムの世界観をさらに拡大するために「ICON ONE THOUSAND(アイコン ワンサウザンド)」のブランド名で多数のカスタムバイクを製作しています。HCS で展示する車両は EICMA2024 で発表した SHOTGUN 650 をベースにした最新作。「Always Something(オールウェイズ・サムシング)」と名付けられたこの車両は SHOTGUN 650 と ICON MOTORSPORTS のユニークな美学が融合したものです。この Always Something は、全世界で限定 100 台が販売される SHOTGUN 650 の限定生産バージョンにも強くインスピレーションを与えました。

ROYAL ENFIELD



【 CHERRY'S COMPANY from Japan 】

ベースマシンは SUPER METEOR 650。「CHALLENGER」と名付け昨年の HCS で世界初公開したカスタムサイドカーです。車両製作は CHERRY'S COMPANY。エンジンとフレームの一部はスタンダードですが、前後サスペンションシステムやホイール、外装類、サイドカーのフレームやサイドカーボディは全てハンドメイドです。今年の春に海を渡り、英国、フランス、ドイツなどのカスタムバイクイベントに展示されたほか、グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードにも参加。「The Hillclimb」を走りました。



ROYAL ENFIELD

<ロイヤルエンフィールドについて>

ロイヤルエンフィールドは1901年の創業以来、美しいオートバイを作り続けている世界最古のモーターサイクルブランドです。イギリスにルーツを持ち1955年にインド・マドラスに製造工場を設立し、これを足がかりにロイヤルエンフィールドはインドの中型二輪車セグメントの成長を先導してきました。ロイヤルエンフィールドは魅力的で、シンプルで、親しみやすく、乗るのが楽しい、探検と自己表現のための乗り物です。これは私たちがPure Motorcycling(ピュア・モーターサイクリング)と呼ぶアプローチです。

ロイヤルエンフィールドのプレミアムラインナップには2024年8月に日本でも発売したカスタムスピリットの真髄とも言える「SHOTGUN 650」、90年に渡る伝統を継承した新たな「BULLET 350」、アイコンックな単気筒モデル「CLASSIC 350」、前後17インチキャストホイールのスポーツモデル「HUNTER 350」、スモールクルーザー「METEOR 350」、並列二気筒エンジンを採用した「INT650」と「CONTINENTAL GT650」、60年にわたるクルーザーのDNAが凝縮された「SUPER METEOR 650」、新設計で同社初の水冷エンジンが搭載されたアドベンチャーツアラー「NEW HIMALAYAN」、などがあります。ライダーと情熱的なコミュニティは各地方、地域、国際レベルで開催される豊富なイベントによって育まれています。特に、毎年インド・ゴア州で開催し何千人ものロイヤルエンフィールド・ファンが集まる「MOTOVERSE」や、もっとも過酷な地形と最高峰の峠を越える巡礼の旅、「ヒマラヤ・オデッセイ」などは有名です。

Eicher Motors Limited(アイシャーモーターズ・リミテッド)の一部門であるロイヤルエンフィールドは、インドの主要都市に2,100以上の販売ディーラーを、また世界60カ国以上に約850の販売ディーラーを展開しています。またロイヤルエンフィールドは、イギリスのブランディングソープとインドのチェンナイの2箇所に、テクニカルセンターと呼ぶ先進的な開発部門を有しています。そしてチェンナイ近郊のオラガダムとヴァラムヴァダガルの2箇所に、最新鋭の生産施設を持つ工場も有しています。インド国外に目を向けると、ロイヤルエンフィールドは、ネパール、ブラジル、タイ、アルゼンチン、コロンビアの5ヶ所に最新のCKD(コンプリート・ノックダウン:製造国から車両すべての部品を輸入、現地で組み立てて完成車とする方法)組立施設を有しています。

画像のダウンロードはこちらから。

<https://www.royalenfield.co.jp/download/>

ロイヤルエンフィールドのブランドやモーターサイクルに関する詳細は下記公式ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.royalenfield.co.jp>

全国のROYAL ENFIELD正規販売店は下記よりご確認いただけます。

<https://www.royalenfield.co.jp/dealers/>

本件に関するお問い合わせ先:ロイヤルエンフィールドジャパン(総輸入発売元:ピーシーアイ株式会社)

<https://www.royalenfield.co.jp>